

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	01-01-14-05
事務事業名	生活環境改善事業	根拠法令・要綱等	備前市ごみ置場整備改良事業補助金交付要綱等
事業開始年度	昭和49年度-	問合せ先	環境課
大項目 基本目標	安全で快適に暮らせるまちづくり	担当課(室)	環境課
中項目 基本施策	生活しやすいまちづくり	職・氏名	衛生係長・森本和成
小項目 施策	ごみ処理	電話	64-1821

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	清潔で快適な暮らしを求める市民
目的(何のために)	地区が管理するごみ置場、共同墓地の整備費用の一部を補助する事により、生活環境の改善及び使用者の利便を図る。
行政活動(どのような方法で)	ごみ置場、ごみ置場給水施設の設置に伴う補助金の交付(ごみ置場整備改良事業補助金) 共同墓地の水道施設設置、駐車場施設設置及び墓参道整備工事に伴う補助金の交付(地区管理墓地整備補助金)
事業の意図する成果(どのような状態にしたのか)	ごみ置場を設置することにより、収集効率が向上し、環境美化が図れる。地区管理墓地が整備されれば、利用者の利便が向上する。

事業の実績					
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	ごみ置場整備改良事業補助金	件	38	18	14
	ごみ置場設置数	件	26	12	11
	給水施設設置数	件	12	6	3
	地区管理墓地整備補助金	件	3	1	1
事業費	直接事業費	千円	6,168	2,999	2,152
	人件費	千円	3,105	3,160	939
	事業費計		9,273	6,159	3,091
財源	国県支出金				
	受益者負担	千円			
	一般財源		9,273	6,159	3,091
	必要人員	人	0.40	0.40	0.12
結果指標	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	ごみ置場整備改良事業補助金	説明	ごみ置場、ごみ置場給水施設の設置に伴う補助金		
	結果指標量	件	38	18	14
	対前年比	%	-	47.4%	77.8%
	活動コスト	円	8,588,805	5,892,900	2,928,400
	単位当たりコスト	円	226,021	327,383	209,171
結果指標	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	地区管理墓地整備補助金	説明	共同墓地の水道施設設置、駐車場施設設置及び墓参道整備工事に伴う補助金		
	結果指標量	件	3	1	1
	対前年比	%	-	33.3%	100.0%
	活動コスト	円	684,195	266,316	162,600
	単位当たりコスト	円	228,065	266,316	162,600

事業の成果			
成果指標名	ごみ置場整備改良事業におけるごみ置場設置数	式又は説明	ごみ置場及び給水施設設置数到達目標値について、各地区(9地区)で年間2件の設置を目標とする。
成果指標量	17年度 38	18年度 18	19年度 14
対前年比		47.37%	77.78%
到達目標値	18	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
目的	<input type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	妥当性評価<A-E>	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である	課題認識	
対象	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている		
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している		
行政活動	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある		
	<input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
事業の意図する成果	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない		
	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である		
	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい		
コスト	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である		
	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい	効率性評価<A-E>	B
効率性の評価	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい	課題認識	
	<input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難		
職	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある		
	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている		
	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている		
	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている		
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい		
	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである	有効性評価<A-E>	B
	<input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	課題認識	
	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである		
	<input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している		
	<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		
	<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

平成20年度の状況		説明	平成20年度より、ごみ置場整備改良事業補助金の額を改定し、ごみ置場の設置は20万円から15万円に、給水施設の設置は10万円から8万円とした。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量 18	結果指標量	2
成果指標量	18		

総合評価		評価区分<A-E>	B
平成20年度から補助金の額を減額したが、ごみボックス自体は原油価格の高騰もあり、価格が10%程度値上がりした(一部業者)。ごみ置場の設置については、新設、老朽化による付替えとともに要望が多い。予算にも限りがあるため、要望を踏まえつつ、緊急性のある地区、未整備地区を重点的に整備を進めていく。			

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
	<input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果

